

シメトリン・フルセトスルフロン・ベンフレセート粒剤 ナイスミドル1キログラム粒剤	取扱メーカー： 石原 原体メーカー： シンジェンタ、石原産業、 O A T
成分： シメトリン〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………4.5% フルセトスルフロン〔スルホニルウレア系〕……………0.22% ベンフレセート……………6.0% その他 PRTR 該当成分： ドデシル硫酸ナトリウム〔PRTR・1種〕……………5.1%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●ノビエ4葉期まで使用できる3成分の水稲用中期除草剤。

●多年生雑草（クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、ウリカワ、ミズガヤツリ、エゾノサヤヌカグサ、シズイ）の防除にも有効。

●スルホニルウレア抵抗性のホタルイ、一年生広葉雑草（コナギ、アゼナなど）に対しても効果を示す。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

●ノビエの4葉期まで、稲の4葉期（北海道は5葉期）以降に散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ	4葉期まで
ヘラオモダカ	4葉期まで (九州は発生始期まで)
ミズガヤツリ	4葉期まで (北陸、近畿・中国・四国は3葉期まで)
ウリカワ	3葉期まで (東北、九州は4葉期まで)
クログワイ	草丈10cmまで
オモダカ	矢じり葉抽出前まで
ヒルムシロ	発生期まで (東北、近畿・中国・四国は生育期まで)
コウキヤガラ	発生始期まで
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈15cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生始期まで

●雑草害をもたらず栽培目的以外の稲の防除に使用する場合は、発生前～発生始（鞘葉抽出期）に有効なので、適期に散布する。必要に応じて、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

●移植前後に使用する除草剤との体系で使用する。

●オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。また、オモダカ、クログワイは有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

●シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

●共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●夏期高温時の使用をさける。

【安全対策上の注意】……………

●カブレやすい体質の人は作業に従事しない。施用した作物等にも接触しない。

●夏期高温時には使用しない。

●魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。



【適用と使用法】

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ(北海道, 東北, 九州) ミズガヤツリ(北海道 を除く) ウリカワ クログワイ(北海道, 九 州を除く) オモダカ(北海道, 九州 を除く) ヒルムシロ コウキヤガラ(東北, 関 東・東山・東海, 九州) エゾノサヤヌカグサ (北海道) シズイ(東北) アオミドロ・藻類によ る表層はく離	砂壤土 ～埴土	移植後14日～ ノビエ4葉期 但し, 収穫 60日前まで	1kg	湛水 散布	全域(九州の 普通期栽培地 帯を除く)の 普通期及び早 期栽培地帯	1回 ※

※シメトリンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※フルセトスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

※ペンフレセートを含む農薬の総使用回数 : 2回以内